

光

明

妙智寺 寺報 5月 236号

えんぎ 「縁起」

よく「縁起が良い・悪い」「縁起を担ぐ」などの言葉を耳にすることがあると思います。また、神社仏閣や仏像などの由来や沿革を指す言葉として用いられることもありますが、もともとは仏教の教えを表す言葉です。正式には因縁正起^{いんねんしょうき}といい、物事には因（原因）があり、それに縁が作用して生起（結果が起こること）するという意味です。この縁にまつわる言葉を紹介したいと思います。

【かれあるに縁^よりて此れ有^こり、此れ無^あければ彼^こなしと^な】

これは、「ある条件が調うことによって成り立つ現象は、その条件が失われれば成り立たない、存在しない」という意味です。すべての物事はさまざまな条件によって成り立っています。つまり、何かひとつの事柄だけで成り立っているわけではないということです。身近なことで考えてみると、夫婦は子供が生まれることで父親と母親になることができます。兄弟・姉妹も同様であり、兄がいるから弟ができるし、妹がいるから姉になることができます。「人と人」、「人と時」、「人と物」、「人と場所」。実は縁とは相手がいるから生まれるものであり、求めるのではなく、与えられていることに気づくことが大事です。

例えば、何か植物を育てようと思った時、私たちが種をまかないとその植物の芽は出ませんし、発芽するためには土と水と太陽の光も不可欠です。しかし、私たち人間は「私が水をあげたから芽が出た」「私が肥料をあげて世話をしたから芽が出た」と思いがちではないでしょうか。水をあげ肥料をあげたから発芽したことはもちろんですが、それだけではなく、適度に日差しがさしてくれたこと、雨が降ってくれたこと、土があること、台風や洪水などに巻き込まれなかったことなど、周囲や自然が与えてくれた条件に目を向けること、感謝することを忘れがちになります。

目に見えているものも目に見えないものも、さまざまな縁があって「これ」が存在し「あれ」も存在し、すべてのものはお互いに関係しあって存在しているということです。だからこそ、そのことに感謝の気持ちを持ってはいけません。皆さんの周りにはどんな縁がありますか？まずは、自分の周りにある縁に気づくことから始めてまいりましょう。



道

仏教の開祖、ブッダ（釈尊・お釈迦さま）は、独創的宗教の考案者や創始者ではなく、普遍的真理の発見者である。

つまり「覚り」の境地はもともとあったものであり、そこへの道も存在していた。それらにブッダが気付いただけである。

たとえば、ニュートンが、リンゴの落ちることから「万有引力の法則」を発見したのに通ずる。ニュートンが出現しようが、しまいが、万有引力は地球の誕生以来存在していた。彼は、ただ人々が気づかなかったことに気づき、正しく観察し、法則化しただけである。

ブッダが気付いた境地とそこへ至る道について次のような逸話がある。

あるとき、マガダ国からの来訪者がブッダに質問した。

「あなたの弟子たちは全員、あなたが説く理想の境地（覚り）に達するののか」
対してブッダは

「私の弟子の中にも、達しうる者もいれば、達しえない者もいる」
重ねて質問した

「理想の境地はたしかに存在し、そこに至る道があるというのに、達することが出来る者と、達することが出来ない者がいる、というのはどうして」
ブッダはこう応えた。

「人が、あなたの住むマガダ国への道を尋ねたとしよう。あなたは、その人のために、詳しくその道を教えるでしょう。しかし、ある人は無事にマガダ国に辿り着くでしょうが、ある人は、道を間違え、あらぬ方にさまようこともあるでしょう。どうしてなのですか。」

来訪者は納得したように答えた。

「私は道を教えるだけですから、そのあとはどうすることもできません。」
ブッダはまとめて応えた。

「歩く1人ひとりの問題であり、私は、ただ道を教えるだけである。」

ブッダが到達した「覚り」への道やその道順である「仏教」を正しく理解し、歩んでいけるかどうかは、決意・性向・能力といった諸々の要素を含めて、各人次第です。こうなると、師としての責任逃れで、弟子たちに責任転嫁しているかのような印象をおぼえる方もいよう。

しかし、ブッダは地図が読めない人には、地図の読み方を教え、途中で飽きないよう、休憩所の場所も教え、そして何より、歩むことの苦悩を肩代わり（代受苦）するからと、寄り添ってくださっておられるのです。

いづれにしても、ブッダの示された道（仏教・お経）を学び、間違えないように歩み、理想の境地（あんのんな心）に到達したいと思ってやまない。

げんざいちょう
【現在帳】完成 開眼式(魂入れ)

5月8日(日) 鬼子母神大祭祈祷会にて

「過去帳」は亡くなったご先祖の戒名や命日俗名や続柄を登録し、命日ごとに日めくりで供養しますが、この現在帳は、ご家族の氏名や生年月日を登録し、生まれた日ごとに日めくりで祈願します。

檀家各家のみの「特別祈願台帳」となり、本堂にて永久的に祈願いたします。

例 3月11日生まれの方ですと、お名前を11日に記入し、
毎月11日に朝勤にて、「身体健全・家内安全」等を祈る。

★第111回 妙智寺和讃会は

5月22日(日) 午前9時 和讃練習

午前10時 生け花講習

※お花の準備があるので欠席の方は15日までにご連絡下さい。

4月の妙智寺の様子 月例の回向(訪問型・来山型)は省略

4/3 W家 車祈祷2台

4/4 信行道場研修 講師(リモート)

4/9 H家 車祈祷

4/10 N家施餓鬼(祥月)

4/10 I家施餓鬼(祥月)

4/10 K家施餓鬼

4/10 T家施餓鬼(祥月)

4/10 T施餓鬼(祥月2霊)

4/10 M家施餓鬼(祥月)

4/10 I家施餓鬼(祥月)

4/10 K家施餓鬼(3)

4/10 T家施餓鬼(祥月)

4/10 F家個人施餓鬼

4/20 S家 3回忌法事

4/26 S家 守護神祭・100回忌法事

4/10 W家施餓鬼(祥月3霊)

4/17 M家個人施餓鬼

4/25 大虫 成福寺 説教



5 月 行事予定

□ 5 月 1 日 (日) 午後 2 時

月例水子供養会

- ・ 回向札 (白紙札) と牛乳・菓子を持参ください。
- ・ 生まれ得なかった《いのち》の供養です
- ・ 『永遠のいのち』を説く「自我偈 (P21)」を 5 回読誦します

□ 5 月 8 日 (日) 午後 2 時

法華経報恩／永代施餓鬼会・月施餓鬼 鬼子母神大祭祈祷会・百味供養

- ・ 登録の霊位を経木塔婆に書写し、施餓鬼供養いたします。
- ・ 祥月命日や年回忌・縁のある先祖に特別施餓鬼供養します。
- ・ 鬼子母神さまを開帳し、ご祈祷いたします。祈願を受け付けます。
- ・ 各家守護神法楽。酒や塩等、持参下さい (守護神様に・家の水周り等に)
- ・ 各種 相談もお受けします。

※事が起こってからでは遅い場合も。何でもお気軽に。

- ・ 妙法水を持参ください。

◎方除け守り・花の種 授与／百味供養くじ引き

□ お題目になる 唱題行・法話会・・・22 日 (日) 午前 7 時

お題目を唱え、お題目を聴いて、お題目を感じ、お題目を知り

自身が「お題目になる」時間です。

今月の縁日

5/11 甲子 (大黒尊天 縁日)

5/12 伊豆法難会 (日蓮聖人が念佛者らに強制的に伊豆に流された)